

公表:令和 2年 3月 23日

事業所名 まごころ平和通店

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		パーテーション等で仕切りを作る等して工夫している。	
	②	職員の配置数は適切であるか	○				適切に配置している。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか		○		玄関出入口に階段がある為、車いすを必要としている児童に対して抱っこする等をして工夫している。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			活動毎に場所の区別がつくようレイアウトを工夫している。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○				毎朝のミーティングや職員会議等で広く職員の意思を反映させられるような環境をつくっている。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○				保護者様等に向けてアンケート調査を実施している。アンケート結果をもとに検討し改善に繋げていきたい。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○				事業所内で自己評価を実施し、ホームページ上に公開していく。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○				外部評価は行っていないが、業務改善の為、今後は積極的に取り組んでいきたい。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○				職員には積極的に外部研修を受講する機会を設けている。また、職員間でも研修会を実施し情報共有に努めている。
適切な 支援の 提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○				アセスメントに基づいた計画を作成している。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○				研修等で学んだアセスメントツールを活用している。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○				児童発達支援ガイドラインに基づいて支援計画を作成している。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○				児童発達支援計画に沿って支援を行っている。

	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			レクリエーション起案に関して、複数の職員で考案している。		
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			プログラムの評価を行い改善している。積極的に新しいプログラムも取り入れている。		
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○				児童の課題に合わせて個別・集団活動を組み合わせた計画を作成している。	
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎朝ミーティングを行い、一日の流れや注意事項について確認している。		
	⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○			利用後の送迎があり、支援終了後の振り返りは困難な為、月に1～2度職員会議を行い支援の振り返り改善に繋げている。	
	⑲ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			記録は関わった職員が奇記入するが、全職員が目を通し把握に努めている。		
	⑳ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○				定期的に現場職員の意見を聞き評価を行っている。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○				児発管だけでなく、必要であれば対象児童の状況に詳しい職員が参加している。	
	㉒ 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○				相談事業所が関わっている児童については、定期的に連絡を取り合い情報共有を行っている。	
	㉓ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		○				重症心身障害のある児童に対して他機関との連携を図り、適正な支援が提供できるよう努めている。
	㉔ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか		○				利用開始前に病院や主治医を聞き、迅速な対応ができるよう体制を整えている。
	㉕ 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		○				送迎時に保育園や幼稚園の先生と情報共有を行い、必要である場合は電話連絡にて情報共有に努めている。
	㉖ 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか						送迎時に学校の先生と情報共有を行い、必要である場合は電話連絡にて情報共有に努めている。
	㉗ 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○					児童発達支援センター開催の研修を受講し職員のスキルアップを図っていく。
	㉘ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			○			機会がない為、今後機会を設けていく。

	②⑨	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか			○		参加していないが、今後積極的に参加していく。
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○				送迎時の他、定期的に面談を実施し、情報の共有と課題の共通理解が持てるよう配慮している。
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		○			ペアレント・トレーニングという形態はとっていないが、保護者様等が事業所を訪問し言語聴覚士からアドバイスを受ける機会を設けている。
保護者への説明責任等	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○				契約時に不明な点がないよう、丁寧に説明を行っている。
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○				保護者様には時間をとって支援内容と必要な理由を説明し、同意を得た上で発行している。
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○				送迎時だけでなく、必要に応じて時間を設けて相談を行っている。
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○				保護者様参加の親睦会を実施している。
	③⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○				相談等の申し入れに対して体制は整備しており、保護者様へ周知している。迅速に対応するよう心掛けている。
	③⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○				毎月、事業所内での活動や連絡事項を掲載したお便りを発行し、保護者様に配布している。
	③⑱	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○				保護者様同意のもと、事業所または必要に応じて関係機関のみでの利用としている。
	③⑲	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○				送迎時の他、連絡ノートを用意し情報伝達の方法の一つとしている。
	④①	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○			行事の際は、近隣の商店等にご協力を頂いている。
	非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			
④②		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○				消防法に則り、年に2回の防災訓練を実施している。
④③		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○				利用開始時や健康状態に変化がある度に保護者様を通して児童の状況を把握している。

④④	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	○				利用開始時に保護や様からの聞き取りをもとに対応している。
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○				ヒヤリハット報告書は回覧し、必要に応じて職員会議内で改善に向けた話し合いを実施している。
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○				職員に対して日々のミーティングで虐待防止への意識付けを行っている。虐待に関する研修の参加を予定している。
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか			○		身体拘束を行う必要がない為、記載していない。やむを得ず行う場合は適正な手続きを踏み進めていく。

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。